T たのしく A あかるく O おもしろく ∞ T たるをしる A ありがとう O おかげさま

TAO 塾通信　2016 年　初夏号

編集者　波多野毅　　発行元　一般社団法人TAO塾　　2016 年 5 月 31 日(火)発行　　通刊 60 号
〒869-2501　熊本県阿蘇郡小国町宮原 908-4　　TEL ＆ FAX 0967(46)3913　携帯 090(1978)3386
E-mail:wildoats@bronze.ocn.ne.jp　　mobile-mail:taojuku@me.com　　Facebook ＆ blog ほぼ毎日更新中

一般社団法人 TAO 塾　新ホームページ　http://www.taocomm.info/
TAO リトリート＆cafe　新ホームページ　http://taoretreat.jimdo.com/

Towards	1	独立自由人	Be independent and free.
enjoying	2	知的野生人	Be intellectual yet down-to-earth.
21st century	3	草根世界人	Be international yet act locally.

熊本地震～災害弱者へ響き合いのリレー

一般社団法人 TAO 塾代表　波多野　毅

熊本県が大きな地震に見舞われた。我が阿蘇小国郷も、一時は全世帯避難勧告が発令され、町内の体育館に避難したり、車中泊を余儀なくされたが、震源地から離れた所に位置し比較的軽傷に済んだ。

TAO 塾では、災害が少なかった地域の役目として被害の大きかった他の地域への救援活動をすることを決意。阪神・淡路大震災の時、被災地に必要でもない物資が山のように届けられ、ある種の二次災害を起こしたという反省を活かし、現場のニーズに即した救援物資にしぼり、フェイスブックで友人・知人・TAO 塾の関係団体などに支援を呼びかけた。

水・トイレットペーパー・生理用品・ガスコンロ・ブルーシートなどの一般物資と共に、救援食を食べることができないアトピーやアレルギーを持つ人達を対象にした、農薬や添加物、または小麦その他のアレルギー物質が入っていない食品を届けるアクションを立ち上げ協力を募った。名付けて「食のバリアフリー支援プロジェクト」。

TAO 塾がいつもお世話になっている自然農、自然食関係の有志が次々と手を上げてくれ、全国各地から安心安全のオーガニック食品が送られて来た。TAO 塾では、かつて東日本大震災の時に被災地にオーガニックの玄米ぽんせんを届ける活動をしてとても喜ばれた経験がある。離乳食や介護食にも利用出来、水も火も要らず生命力の高い玄米を口にすることができる。今回も全国各地から届けられる自然栽培の玄米を、TAO 塾でぽんせんに加工する活動を朝から晩まで展開。TAO 塾の卒業生のほか、九州各県遠くは東京から来てくれた人達、中国・韓国・タイ等 TAO 塾の外国人ネットワークもボランティアに来てくれて共に製造・袋詰め・発送作業を手伝ってくれた。

地元「畑の会」の主婦の皆さんにも協力頂いた熊本市健軍での炊き出しでは、配布の際、障碍者・高齢者の人達優先のファストレーンも用意した。温かいご飯が食べられて嬉しい、アトピーの子供達も安心して食べられるコーナーが有難かったとの言葉を頂く。出来る限り「災害弱者」に配慮した活動を心がけるよう努めた。

全国から温かい想いがつまった物資を、信用でき、響き合える人のリレーで丁寧に繋ぎ手渡す！「必要な人に必要なものを」の合い言葉で協力しあい作業をすすめた。

いまだ余震が続く不安な状況が続いているが、「陰転じて陽」の智慧に学び、このピンチを与え合い・分かち合いのコミュニティ再生への転換のチャンスにしていきたいものだ。

震災直後
福岡経由の物資運搬！
岡部賢二さん

TAO 塾救援活動
スローガン！
必要な人に必要な物を

旧友・付海さん
次男・遊然も大活躍！

全国から贈られて来た
無農薬玄米が
ぽんせんに変身！

地元小国の高村牧場
高村武志さん協力による
熊本市への物資運搬！

高齢者・アトピー・障碍者
災害弱者の方々に！

全国から
沢山の支援の輪が！

TAO 塾卒業生
元 TAO 塾スタッフ
一丸となって！

毎日、全国各地から
沢山のボランティアの人達が
来てくれました！

地元新聞一面は日々地震の記事が！

友人の元島歯科医師
ボランティア来訪！

炊き出し隊 出動！

外国人ボランティアの
嬉しい協力！

熊大教授 都竹医師
応援来訪！